

形名 MS1060

取扱説明書 このたびは三菱照明制御器をお買い上げいただきありがとうございました。
この取扱説明書は三菱照明制御器「データ設定器」の取扱いについて記載しております。
よくお読みのうえ、正しくお使いください。

- 据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方は、いつでも見られる所に保管し、移設・修理の時は工事される方に、またお使いになる方が変わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しください。
- 本機単体でのご使用はできません。対応するシステムと組み合わせてご使用ください。

1 安全のために必ず守ること

- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

 **警告** 誤った取り扱いをしたときに、死亡や重症などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。

 **注意** 誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

異常時の処置

警告

煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合は、直ちにアルカリ乾電池を抜き、煙が出なくなるのを確認してお近くのサービス窓口にご連絡してください。






- 本文中の“図記号”の意味は次のようになっています。



「禁止」を表します。



「必ずしてほしい行為」を表します。

 禁止	乾電池の(+)、(-)を逆に入れたり、古い電池や違う種類の電池を混ぜて使わない。 (けが・故障の原因になることがあります。)  注意
	乾電池をショートさせたり、分解・加熱または充電しない。 (液漏れ、破損、発熱によりけが・故障の原因となることがあります。)  注意
 厳守	乾電池の溶液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流し、また眼に入ったときは、きれいな水で洗った後、ただちに医師の治療を受ける。  注意

(1) 必ずお読みください。

1	安全のために必ず守ること	1 頁
2	もくじ	2 頁

(2) 準備

3	各部の名称と機能	3 頁
4	機能の説明	4 頁
5	データ設定器の接続方法	7 頁

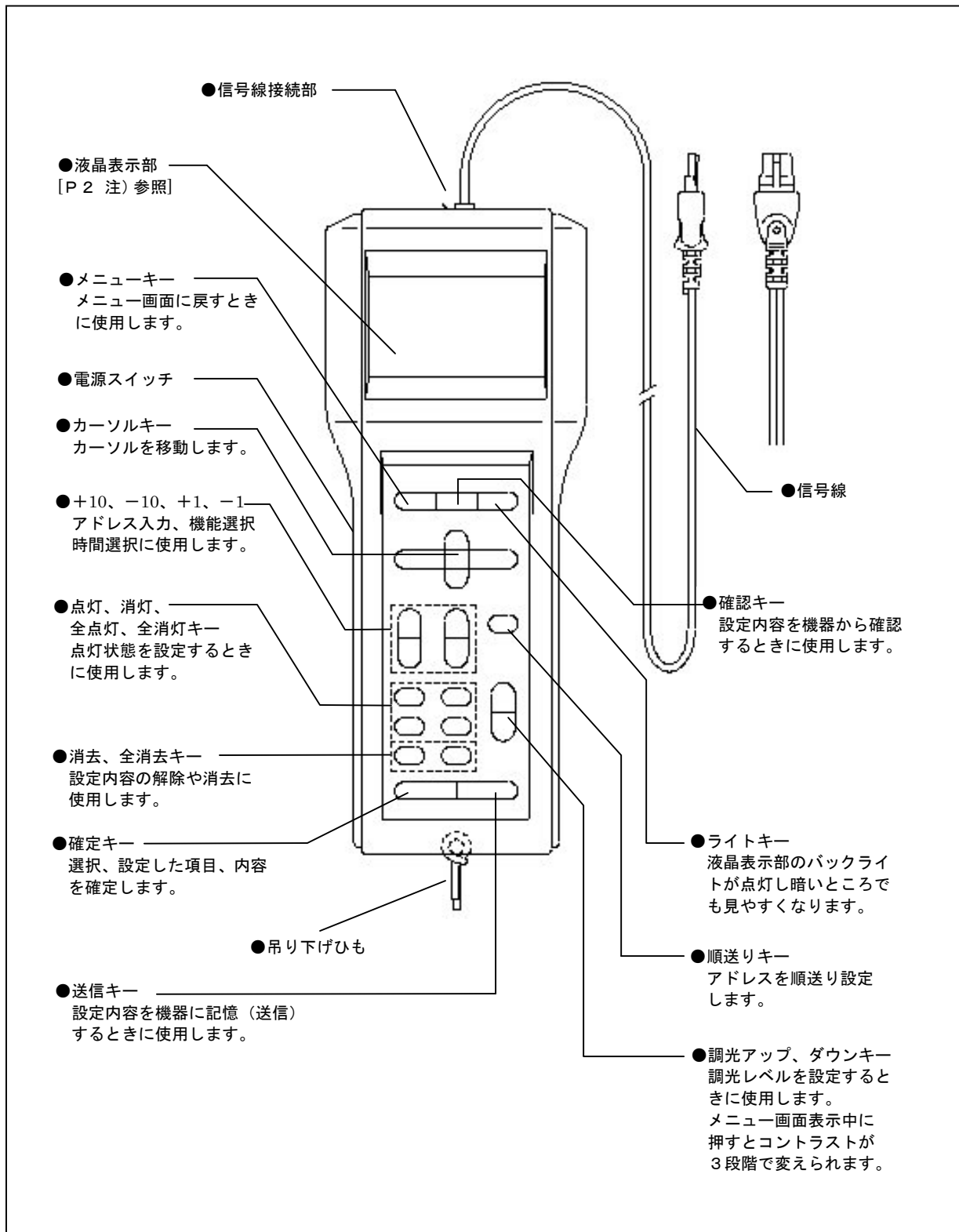
(3) 設定を行う。

6	設定操作の説明	8 頁
---	---------	-----

(4) 確認してください。

7	仕様	27 頁
8	保障とアフターサービス	28 頁

3 各部の名称と機能



確認音（ブザー）

ピー	電源スイッチをONにしたとき
ピッ	送信、確認で通信が正しく行われたとき
ピッピッピッ	誤ったキー入力をしたとき 通信異常が発生したとき

4 機能の説明

ご注意・各種割付設定作業後、1分以上経過してから機器の電源をOFFしてください。

■ 機能／アドレス設定機能

- ◆データ設定式壁スイッチ（1～4個用）の機能設定、アドレス設定及びタイマー機能設定を行うことができます。

スイッチ形番	機能	タイマー機能 * 1		設定可能アドレス
		一時点灯	消灯遅延	
MS1101	個別	0.5分～120分	0.5分～120分	0-1～127-4
MS1102	グループ	0.5分～120分	0.5分～120分	0-1～63-4
MS1103	パターン	不可	0.5分～120分	0-1～31-4 * 2
MS1104	人感センサ入切	不可	不可	0-1～7-4
	特殊スイッチ	不可	不可	0-1～63-4 * 3
MS1111	調光（設定済）	不可	不可	0-1～7-4

* 1 タイマー値は0.5分、1分、2分、3分、5分、10分、15分、30分、60分、120分を選択できます。

* 2 パターン番号32-1以上は設定しないでください。

* 3 メルセーブNET M専用となります。

- ◆データ設定式制御端末器（調光端末器）のアドレス設定及び、フェードイン時間、フェードアウト時間設定を行なうことができます。

制御端末器形番	時間設定		設定可能アドレス
	フェードイン	フェードアウト	
MS1708	0秒～60秒	0秒～60秒	0-1～63-4
MS1716	0秒～60秒	0秒～60秒	0-1～63-4
MS1701	0秒～60秒	0秒～60秒	0-1～63-4

- ◆データ設定式入力端末器（接点入力端末器）のアドレス設定を行なうことができます。

■ スイッチ割付設定機能 入力端末器割付設定機能

スイッチ及び入力端末器への負荷回路の割付設定をすることができます。

ご使用になるシステム機器により動作する機能が異なりますので、ご使用になる機器と動作する機能対応表をご参照ください。

■ チェック機能

スイッチ機能、接続端末表示及び割付グループ・パターン確認機能があります。

スイッチ機能——設定器を任意のアドレス、機能のスイッチとして動作させることができます。
（タイマ動作はできません）

接続端末表示——接続されている端末器のアドレス（回路番号）を液晶表示部に表示します。
割付グループ・パターン——割付済みのグループ、パターン番号を液晶表示部に表示します。

■ 各種設定

調光コントローラ照度自動校正、タイムスケジュール設定、日付・時刻設定、消灯遅延時間設定の機能があります。

調光コントローラ照度自動校正――調光コントローラが照度を正しく検知するためには実際の照度に合わせて校正する必要があります。
照度自動校正機能により、設定器からは指定したパターン番号に割り付けられている全調光コントローラに対して設計照度を送信します。(調光コントローラは照明器具を調光度70%で点灯し、その明るさを設定した設計照度として校正します。)

タイムスケジュール設定――タイムスケジュールに関するデータ(日スケジュール、週間スケジュール、特定日スケジュール、当日スケジュール)を確認、設定、変更することができます。

日付・時刻設定――日付、時計を確認、設定、変更することができます。

消灯遅延時間設定――個別回路(ON/OFF 端末器)に対して消灯遅延時間を設定、変更することができます。

ご注意

日付・時刻設定をする際は、送信キーを押した後に必ず確認キーを押して、設定した日付・時刻に誤りがないかを確認してください。

ご使用になるシステム機器により動作する機能が異なりますので、機能対応表をご参照ください。
機能対応表

システム機器名	割付設定機能	割付可能負荷回路	チェック機能	各種設定
メルセーブNET C	グループ パターン シーン(パターン) * 4 人感センサ入切 * 7 強制パターン 光センサ * 6	ON/OFF 端末器 0-1~127-4 調光端末器 0-1~63-4 * 5 人感センサ 0-1~63-4	スイッチ機能 接続端末表示 割付グループ / パターン表示	タイムスケジュール設定 日付・時刻設定 消灯遅延時間設定
	調光壁スイッチ	調光端末器のみ		
メルセーブNET M	グループ パターン シーン(パターン) * 4 人感センサ入切 * 7 強制パターン 光センサ * 6	ON/OFF 端末器 0-1~127-4 調光端末器 0-1~63-4 * 5 調光コントローラ 0-1~127-2 * 8 人感センサ 0-1~63-4	スイッチ機能 接続端末表示 割付グループ / パターン表示	調光コントローラ 照度自動校正 日付・時刻設定 消灯遅延時間設定
	調光スイッチ	調光端末器のみ		

* 4 シーンはパターンと同じですが、割付設定時(送信キーを押した時)に負荷がパターンで点灯します。

* 5 ON/OFF 端末器と調光端末器を同アドレス(回路番号)で重複設定することはできません。

* 6 光センサには ON/OFF 端末器、調光端末器のみ割り付けすることができます。






* 7 人感センサ入切スイッチには調光コントローラまたは人感センサを割り付けることができます。人感センサ入切スイッチの操作で割り付けられた機器の人感機能を入/切することができます。

* 8 メルセーブNET M専用の調光コントローラを割り付けることができます。

※メルセーブNET C・Mに関わらず、データ式端末器のアドレス設定が可能です。

■ その他の機能

画面表示

- 電池交換表示 --- 電池の電圧が下がってくると画面右上に  マークが表示されます。
 マークが表示されたら電池を交換してください。
- 伝送電圧表示 --- 伝送線もしくは端末器から電源供給を受けている時に画面右上に  マークが表示されます。
- バックライト --- **ライト** キーを押すと点灯し、暗い所でも見やすくなります。電池で動作しているときに点灯させると、画面右上に  マークが表示されます。
ライト キーを押す毎に ON/OFF します。
1分以上キー操作が行われないとバックライトは自動的に消灯します。
ご注意 バックライトの点灯中は電池の消耗は早くなります。
- 通信中表示 --- 機器との通信中に画面右上に  マークが表示されます。
このマークが出ている間はお待ちください。

異常表示

通信異常です。
接続を確認してもう一度、
操作してください。

一機器との通信中に異常が発生すると、約2秒間画面に表示してお知らせします。

順送り

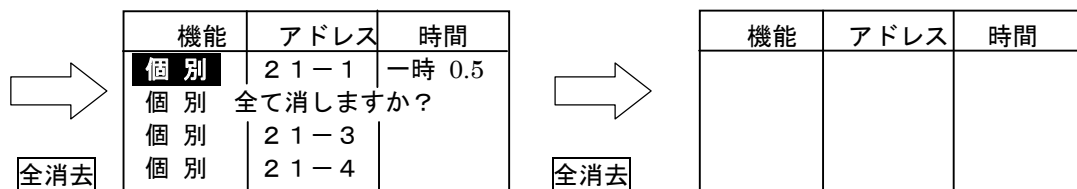
スイッチの機能/アドレス設定やスイッチ機能時に、入力済みのアドレス欄にカーソルを合わせて**順送り**キーを押すと、次の行に同一機能で+1されたアドレス(回路No.)が入力されます。
同様に割付設定時に**順送り**キーを押すと、アドレスのみ+1された内容で入力されます。

消去

全消去

消去キーでカーソル上(反転部)の内容を消去することができます。

全消去キーにより液晶画面に表示されている設定内容を全て消去することができます。1回**全消去**キーを押すと「全て消しますか?」の確認表示が出ますので、実行したい場合は再度**全消去**キーを押してください。中止したい場合は**全消去**以外のキーを押してください。



ご注意

消去、全消去は液晶画面上の表示内容を消去するだけで、機器には記憶(送信)されません。消去内容を反映させるには、**送信**キーを押してください。

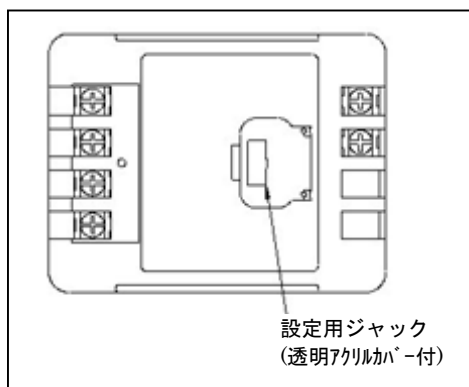
5 データ設定器の接続方法

スイッチの場合



- ①スイッチの化粧カバーを外します。
- ②設定器の信号線プラグをスイッチのジャックに差し込みます。差し込み方向に注意してください。
- ③設定器の電源スイッチをONにします。
システム稼働中は伝送線より給電されます。
- ④設定器の液晶表示部にメニュー画面が表示されます。
- ⑤設定操作をします。
- ⑥スイッチからプラグを抜きます。
- ⑦スイッチの化粧カバーを取付けます。

制御端末器、入力端末器の場合



- ①端末器の設定用ジャックカバーを開けます。
- ②設定器の信号線プラグを端末器のジャックに差し込みます。差し込み方向に注意してください。
- ③設定器の電源スイッチをONにします。
システム稼働中は伝送線より給電されます。
(一部端末器は端末器電源より供給されます)
- ④設定器の液晶表示部にメニュー画面が表示されます。
- ⑤設定操作をします。
- ⑥端末器のジャックからプラグを抜きます。
- ⑦端末器の設定用ジャックカバーを閉じます。

ご注意

設定器を同時に2台以上接続して割付設定すると誤った割付になる場合があります。機能／アドレス設定を行う場合は複数台の同時設定ができます。

メニュー画面

設定器の電源スイッチをONすると、下図の画面が表示されます。

メニュー	V 3. 4
1. 機能／アドレス設定	
2. スイッチ割付設定	
3. 入力T/U割付設定	
4. チェック機能	

■ 使用上のご注意

信号線接続-----信号線をデータ設定器、スイッチ及び端末器に接続する際は、逆差しや無理な差し込みをしないようご注意ください。設定中に通信エラーになる場合は、再度差し込みを確認してください。

信号線消費電流（最大40mA）を考慮して接続してください。

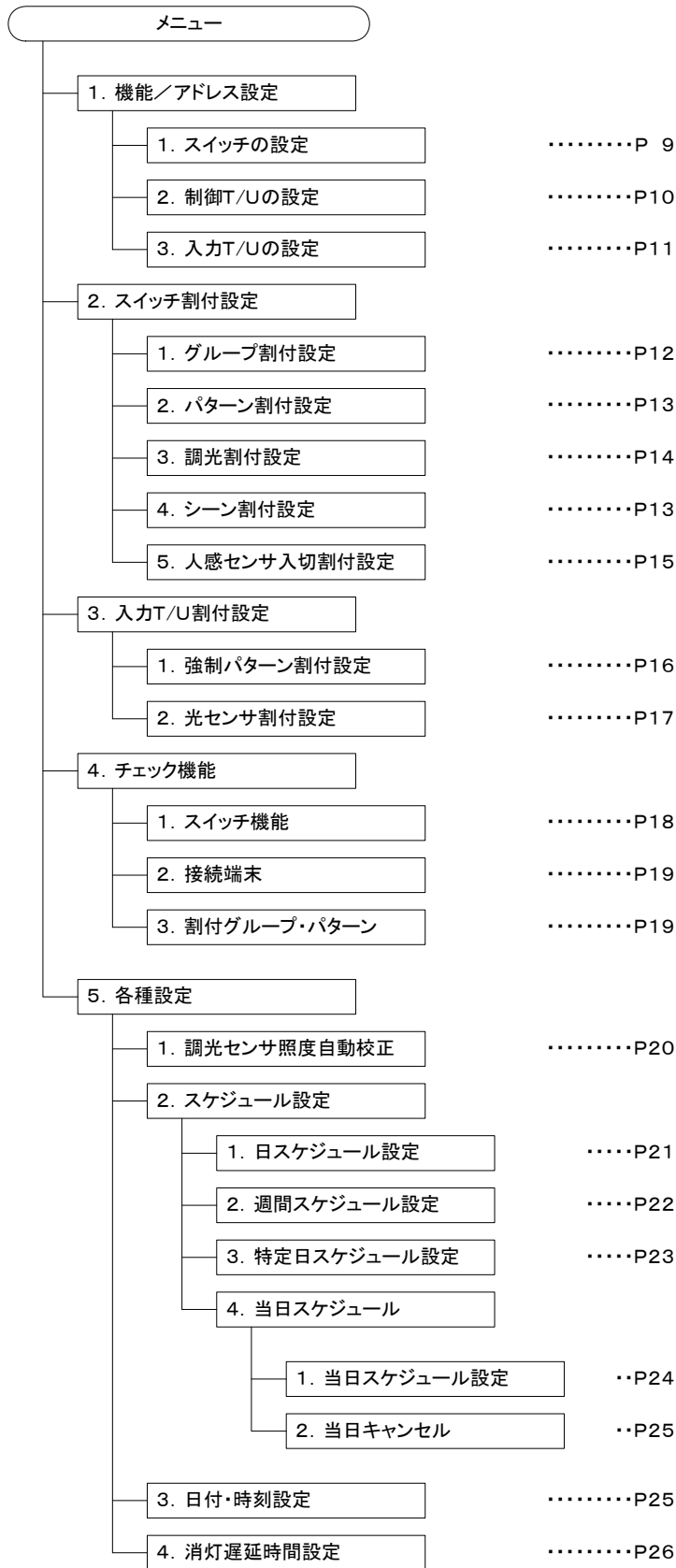
使用乾電池-----単4アルカリ電池1.5V×4本をご使用ください。

マンガン電池もご使用いただけますが、ご利用できる期間が短くなります。

割付設定-----スイッチ割付設定、入力端末器割付設定、チェック機能、各種設定を行う場合は、電源を立ち上げてから3分以上経過した後に、設定器の電源をONにしてください。また割付操作後、1分以上経過してから電源をOFFしてください。

6 設定操作の説明

各種設定操作画面の体系（階層）は以下の通りです。



注) データ設定器液晶表示部画面表示について

画面表示では簡略表現している項目があります。以下の様に読み替えてください。

画面表示	⇒	本文
T/U	⇒	端末器
調光センサ	⇒	調光コントローラ

■ 機能／アドレス設定 → スイッチの設定

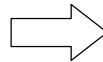
① スイッチに設定器を接続する

データ設定器の接続方法(P7)に従い
スイッチに信号線を接続します。

メニュー
1. 機能／アドレス設定
2. チェック機能

② 機能／アドレス設定を選択する

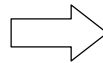
メニュー画面の「1. 機能／アドレス設定」をカーソルキー▼ ▲で選択し、**確定** キーを押します。



機能／アドレス設定
1. スイッチの設定
2. 制御T/Uの設定
3. 入力T/Uの設定

③ 設定する機器の選択

メニュー画面の中の「1. スイッチの設定」をカーソルキー▼ ▲で選択し、**確定** キーを押します。



機能	アドレス	時間
グループ		

④ 設定内容の確認

確認キーを押すとピッと鳴って、既に設定されている場合は設定内容が表示されます。

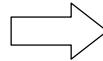


機能	アドレス	時間
グループ		

⑤ 機能を選択する

+1 (**-1**) キーを押して機能を選択します。

+1 キーを押すごとに、
個別 → グループ → パターン → 調光 → オールオン → オールオフ → 人感入切 → 特殊 → 個別と変わります。
(**-1** キーは逆となります。)
調光は、機能欄の一番上にカーソルがある場合に設定できます。



例 グループに設定

機能	アドレス	時間
グループ		

⑥ アドレスを入力する

カーソルキーでアドレス欄にカーソルを移動し、**+10** **-10** **+1** **-1** キーを使用してアドレスを入力します。
1 個目の機能、アドレスを入力した時点で (カーソルがアドレス欄にある時)、**順送り** キーを押すと、2 個目以降に同一機能で +1 したアドレスが設定されます。



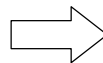
例 11-1 に設定

機能	アドレス	時間
グループ	11-1	

⑦ 時間を設定する

タイマー時間を設定する場合は時間の欄にカーソルを移動し、**+1** **-1** キーでタイマー種類と時間 (分単位) を選択します。

+1 キーを押す毎に、
一時 0.5 → 一時 1 → 一時 2 → 一時 3 → 一時 5 →
一時 10 → 一時 15 → 一時 30 → 一時 60 → 一時 120 →
遅延 0.5 → 遅延 1 → 遅延 2 → 遅延 3 → 遅延 5 →
遅延 10 → 遅延 15 → 遅延 30 → 遅延 60 → 遅延 120



例 一時点灯 1 分に設定

機能	アドレス	時間
グループ	11-1	一時 1

⑧ 設定データを送信する

全ての入力を終わったら、**送信**キーを押すとピッと鳴って設定内容がスイッチに記憶されます。
続けて他のスイッチの設定を行う場合は、信号線プラグを設定したいスイッチに差し換えて④～⑧ (電池が入っている場合) を繰り返してください。

■ 機能／アドレス設定 → 制御T/Uの設定

① 制御端末器に設定器を接続する

データ設定器の接続方法(P7)に従い
制御端末器に信号線を接続します。

メニュー

1. 機能／アドレス設定
2. チェック機能

② 機能／アドレス設定を選択する

メニュー画面の「1. 機能／アドレス設定」を
カーソルキー▼ ▲で選択し、**確定** キーを押します。

機能／アドレス設定

1. スイッチの設定
2. 制御T/Uの設定
3. 入力T/Uの設定

③ 設定する機器の選択

メニュー画面の中の「2. 制御T/Uの設定」を
カーソルキー▼ ▲で選択し、**確定** キーを押します。

アドレス	↗ 時間	↘ 時間
■		

④ 設定内容の確認

確認キーを押すとピッと鳴って、既に設定され
ている場合は設定内容が表示されます。

アドレス	↗ 時間	↘ 時間
■		

⑤ アドレスを入力する

カーソルキーでアドレス欄にカーソルを移動し
+10 -10 +1 -1 キーを使用してアドレスを
入力します。1個目の機能、アドレスを入力し
た時点で**順送り**キーを押すと、2個目以降に同
一機能で+1したアドレスが設定されます。

例 11-1に設定

アドレス	↗ 時間	↘ 時間
11-1		

⑥ フェードイン時間を設定する

フェードイン時間を設定する場合は 時間の欄
にカーソルを移動して+10 -10 +1 -1
キーで時間を入力します。
何も入力しない場合は0秒として設定されます。

例 フェードイン時間5秒

アドレス	↗ 時間	↘ 時間
11-1	5秒	

⑦ フェードアウト時間を設定する

フェードアウト時間を設定する場合は 時間の
欄にカーソルを移動して+10 -10 +1
-1キーで時間を入力します。
何も入力しない場合は0秒として設定されます。

例 フェードアウト時間10秒

アドレス	↗ 時間	↘ 時間
11-1	5秒	10秒

⑧ 設定データを送信する

全ての入力を終わったら、**送信**キーを押すとピッと鳴って設定内容が制御端末器に記憶されます。
続けて他の入力端末器の設定を行う場合は、信号線プラグを設定したい入力端末器に差し換えて
④～⑧（電池が入っている場合）を繰り返してください。

■ 機能／アドレス設定 → 入力T/Uの設定

- ①入力端末器に設定器を接続する
データ設定器の接続方法(P7)に従い
入力端末器に信号線を接続します。

メニュー
1. 機能／アドレス設定
2. チェック機能

- ②機能／アドレス設定を選択する
メニュー画面の「1. 機能/アドレス設定」を
カーソルキー▼▲で選択し、**確定** キーを押します。

機能／アドレス設定
1. スイッチの設定
2. 制御T/Uの設定
3. 入力T/Uの設定

- ③設定する機器の選択
メニュー画面の中の「3. 入力T/Uの設定」を
カーソルキー▼▲で選択し、**確定** キーを押します。

機能	アドレス	
グループ		

- ④設定内容の確認
確認キーを押すとピッと鳴って、既に設定され
ている場合は設定内容が表示されます。

機能	アドレス	
グループ		

- ⑤機能を選択する
[+1](-1) キーを押して機能を選択します。
[+1] キーを押すごとに監視 → 個別 → グループ
→ パターン → 強制 → 監視と変わります。
(-1) キーは逆となります。

例 グループに設定

機能	アドレス	
グループ		

- ⑥アドレスを入力する
カーソルキーでアドレス欄にカーソルを移動し
、[+10] [-10] [+1] [-1] キーを使用してアドレス
を入力します。
1個目の機能、アドレスを入力した時点で(カ
ーソルがアドレス欄にある時)、**順送り**キーを
押すと、2個目以降に同一機能で+1したアド
レスが設定されます。

例 11-1に設定

機能	アドレス	
グループ	11-1	

- ⑦設定データを送信する
全ての入力を終わったら、**送信**キーを押すとピッと鳴って設定内容が入力端末器に記憶されます。
続けて他の入力端末器の設定を行う場合は、信号線プラグを設定したい入力端末器に差し換えて④
～⑦(電池が入っている場合)を繰り返してください。

■ スイッチ割付設定 → グループ割付設定

① スイッチに設定器を接続する

データ設定器の接続方法(P7)に従いスイッチに設定器信号線を接続します。既に設定器を接続済みで他の設定操作を行っていた場合は「メニュー」キーを押してメニュー画面にしてください。

メニュー

- | |
|--------------------|
| 1. 機能／アドレス設定 |
| 2. スイッチ割付設定 |
| 3. 入力T/U割付設定 |
| 4. チェック機能 |

② スイッチ割付設定を選択する

メニュー画面の「2. スイッチ割付設定」をカーソルキー \blacktriangledown \blacktriangle で選択し、「確定」キーを押します。

スイッチ割付設定

- | |
|--------------------|
| 1. グループ割付設定 |
| 2. パターン割付設定 |
| 3. 調光割付設定 |
| 4. シーン割付設定 |

③ グループ割付設定を選択する

「1. グループ割付設定」を選択し、「確定」キーを押します。

グループ番号

グループ番号	

④ グループ番号を入力する

設定したいグループスイッチのアドレスを $\boxed{+10}$ $\boxed{-10}$ $\boxed{+1}$ $\boxed{-1}$ キーを使用して入力します。

例 10-2を入力

グループ番号

グループ番号	10-2

⑤ 設定内容の確認

「確認」キーを押すとピッと鳴って、既に割付されている場合は負荷回路番号が表示されます。表示以上の負荷回路がある場合は、カーソルキー \blacktriangle \blacktriangledown を使用して画面を1行ずつスクロールすることができます。

グループ番号

10-2

グループ番号	10-2
 	

※この操作は必ず行ってください。

⑥ 負荷回路番号を入力する

割付したい負荷回路番号（端末器アドレス）を $\boxed{+10}$ $\boxed{-10}$ $\boxed{+1}$ $\boxed{-1}$ キーを使用して入力します。複数回路を割り付けする場合は、カーソルキーを使用してカーソルを移動した後で割り付けたい負荷回路番号を入力してください。

グループ番号

10-2

グループ番号	10-2
1-1	1-2
8-2	

⑦ 割付データを送信する

割付したい負荷回路番号を全て入力し終わったら、「送信」キーを押します。ピッと鳴って割付内容を送信し記憶します。続けて次のグループ割付を行う場合は、④～⑦を繰り返します。

①スイッチに設定器を接続する (P7 参照)

②「2. スイッチ割付設定」を選択する

③パターン割付設定を選択する

カーソルキー▲▼で「2. パターン割付設定」を選択し、**確定**キーを押します。

④パターン番号を入力する

設定したいパターンスイッチのアドレスを**+10**
-10 **+1** **-1** キーを使って入力します。

例 19-4を入力

⑤設定内容の確認

確認キーを押すとピッと鳴って、既に割付されている場合は負荷回路番号、設定点灯状態と調光レベルが表示されます。表示以上の負荷回路がある場合は、カーソルキー▲▼を使って画面を1行ずつスクロールすることができます。

※この操作は必ず行ってください。

⑥負荷回路番号を入力する

割付したい負荷回路番号（端末器アドレス）を
+10 **-10** **+1** **-1** キーを使って入力します。

例 0-1を入力

⑦点灯状態を設定する

点灯 キーまたは**消灯** キーで点灯状態を決めます。
○で点灯
●で消灯です。

例 点灯に設定

⑧調光レベルを設定する

調光アップ キーまたは**調光ダウン** キーで調光レベルを設定してください。調光レベルは0～100%の範囲で1%刻みで設定できます。ON/OFF端末器の場合は、調光レベルの設定はありません。調光コントローラの場合は、行頭に「D」、が表示されます。**調光アップ**、**調光ダウン**キーで調光レベルまたは目標照度を設定してください。目標照度は0～3150lxの範囲で50lx刻みで設定できます。

例 90%に設定

⑨割付データを送信する

⑥～⑧により割付したい内容を全て入力したら、**送信**キーを押します。ピッと鳴って割付内容を送信し記憶します。シーン割付設定の場合は、負荷が点灯・調光・消灯されます。続けて次のパターン割付を行う場合は、④～⑨を繰り返します。

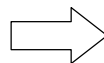
■ スイッチ割付設定 → 調光割付設定

①スイッチに設定器を接続する (P7 参照)

②「2. スイッチ割付設定」を選択する

③調光割付設定を選択する

カーソルキー \blacktriangledown \blacktriangle で「3. 調光割付設定」を選択し、**確定** キーを押します。




調光番号	[REDACTED]

④調光番号を入力する

設定したい調光壁スイッチのアドレスを $\boxed{+10}$ $\boxed{-10}$ $\boxed{+1}$ $\boxed{-1}$ キーを使って入力します。

例 0-2 を入力




調光番号	0-2

⑤設定内容の確認

確認 キーを押すとピッと鳴って、既に割付されている場合は負荷回路番号が表示されます。表示以上の負荷回路がある場合は、カーソルキー \blacktriangle \blacktriangledown を使って画面を 1 行ずつスクロールすることができます。

※この操作は必ず行ってください。




調光番号	0-2
[REDACTED]	

⑥負荷回路番号を入力する

割付したい負荷回路番号（調光端末器アドレス、調光コントローラ）を $\boxed{+10}$ $\boxed{-10}$ $\boxed{+1}$ $\boxed{-1}$ キーを使って入力します。調光コントローラの場合は負荷回路番号の先頭に「D」が表示されます。

例 1-1 に設定



調光番号	0-2
1-1	

⑦割付データを送信する

割付したい負荷回路番号を全て入力し終わったら、**送信** キーを押します。ピッと鳴って割付内容を送信し記憶します。続けて次の調光割付を行う場合は、④～⑦を繰り返します。

調光番号	0-2
1-1	2-1
D2-2	D2-4
D5-2	

■ スイッチ割付設定 → 人感入切割付設定

①スイッチに設定器を接続する (P7 参照)

②「2. スイッチ割付設定」を選択する

③人感入切割付設定を選択する

カーソルキー \blacktriangledown \blacktriangle で「5. 人感入切割付設定」を選択し、**確定** キーを押します。

人感入切番号	

④人感入切番号を入力する

設定したい人感入切スイッチの番号を $\boxed{+10}$ $\boxed{-10}$ $\boxed{+1}$ $\boxed{-1}$ キーを使って入力します。

例 0-1 を入力

人感入切番号	
0-1	

⑤設定内容の確認

確認 キーを押すとピッと鳴って、既に割付されている場合は負荷回路番号が表示されます。表示以上の負荷回路がある場合は、カーソルキー \blacktriangle \blacktriangledown を使って画面を1行ずつスクロールすることができます。

人感入切番号	
1-1	0-1

※この操作は必ず行ってください。

⑥負荷回路番号を入力する

割付したい負荷回路番号（調光コントローラアドレス、人感センサアドレス）を $\boxed{+10}$ $\boxed{-10}$ $\boxed{+1}$ $\boxed{-1}$ キーを使って入力します。調光コントローラの場合は負荷回路番号の先頭に「D」が表示されます。

例 1-1 に設定

人感入切番号	
1-1	0-1

⑦割付データを送信する

割付したい負荷回路番号を全て入力し終わったら、**送信** キーを押します。ピッと鳴って割付内容を送信し記憶します。続けて次の人感入切割付を行う場合は、④～⑦を繰り返します。

人感入切	
1-1	0-1
D 2	2-1
D 100	D 4

■ 入力T/U割付設定 → 強制パターン割付設定

①スイッチもしくは制御端末器、入力端末器に設定器を接続する(P7参照)

メニュー
1. 機能／アドレス設定
2. スイッチ割付設定
3. 入力T/U割付設定
4. チェック機能

②入力端末器割付設定を選択する
メニュー画面の「3. 入力T/U割付設定」をカーソルキー \blacktriangle \blacktriangledown で選択し、**確定**キーを押します。

入力T/U割付設定
1. 強制パターン割付設定
2. 光センサ割付設定

③強制パターン割付設定を選択する
カーソルキー \blacktriangle \blacktriangledown で「1. 強制パターン割付設定」を選択し、**確定**キーを押します。

強制P番号	<input type="text"/>
-------	----------------------

④強制パターン番号を入力する
設定したい強制パターン制御用接点入力端末器のアドレスを $\boxed{+10}$ $\boxed{-10}$ $\boxed{+1}$ $\boxed{-1}$ キーを使って入力します。

例 0-4を入力

強制P番号	<input type="text" value="0-4"/>
-------	----------------------------------

⑤設定内容の確認
確認キーを押すとピッと鳴って、既に割付されている場合は負荷回路番号、設定点灯状態と調光レベル、調光コントローラの場合は人感機能が表示されます。表示以上の負荷回路がある場合は、カーソルキー \blacktriangle \blacktriangledown を使って画面を1行ずつスクロールすることができます。
※この操作は必ず行ってください。

強制P番号	0-4
<input type="text"/>	<input type="text"/>

⑥負荷回路番号を入力する
割付したい負荷回路番号（端末器アドレス）を $\boxed{+10}$ $\boxed{-10}$ $\boxed{+1}$ $\boxed{-1}$ キーを使って入力します。

例 0-1を入力

強制P番号	0-4
<input type="text" value="0-1"/>	<input type="text" value="0%"/>

⑦点灯状態を設定する
点灯 キーまたは**消灯** キーで点灯状態を決めます。○で点灯、●で消灯です。

例 点灯に設定

調光端末器の場合、調光レベルを設定しても点灯時は常に100%になります。
調光コントローラの場合は、行頭に「D」、が表示されます。**調光アップ**、**調光ダウン**キーで調光レベルが設定でき、 \blacktriangleleft \blacktriangleright キーで人感機能の入/切を設定してください。

強制P番号	0-4
<input type="text" value="0-1"/>	<input type="text" value="○ 100%"/>

⑧割付データを送信する

⑥～⑦により割付したい内容を全て入力したら、**送信**キーを押します。ピッと鳴って割付内容を送信し記憶します。続けて次の強制パターン割付を行う場合は、④～⑧を繰り返します。

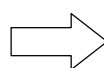
■ 入力T/U割付設定 → 光センサ割付設定

①スイッチもしくは制御端末器、入力端末器に設定器を接続する(P7 参照)

②「3. 入力端末器割付設定」を選択する

③光センサ割付設定を選択する

カーソルキー▲▼で「2. 光センサ割付設定」を選択し、**確定**キーを押します。



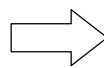
光センサ番号	■■■■

④光センサ番号を入力する

設定したいグループ制御用接点入力端末器のアドレスを**+10** **-10** **+1** **-1** キーを使って入力します。

※グループ制御で使用していないアドレスを光センサ番号として使用してください。
光センサは4入力まで設定できます。

例 63-1を入力

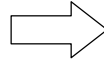


光センサ番号	63-1

⑤設定内容の確認

確認キーを押すとピッと鳴って、既に割付されている場合は負荷回路番号、設定点灯状態と調光レベルが表示されます。表示以上の負荷回路がある場合は、カーソルキー▲▼を使って画面を1行ずつスクロールすることができます。

※この操作は必ず行ってください。

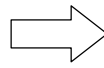


光センサ番号	63-1
■■■■	

⑥負荷回路番号を入力する (ON/OFF 端末器)

割付したい負荷回路番号 (端末器アドレス) を **+10** **-10** **+1** **-1** キーを使って入力します。表示は常に消灯●となります。

例 0-1を入力

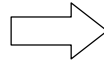


光センサ番号	63-1
0-1 ●	

⑦負荷回路番号を入力する (調光端末器)

割付したい負荷回路番号 (端末器アドレス) を **+10** **-10** **+1** **-1** キーを使って入力します。表示は常に消灯● 0になります。

例 0-2を入力

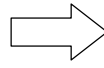


光センサ番号	63-1
0-1 ●	0-2 ● 0

⑧調光レベルを設定する

調光アップ キーまたは**調光ダウン** キーで調光レベルを設定してください。調光レベルは0~100%の範囲で1%刻みで設定できます。ON/OFF 端末器の場合は、調光レベルの設定はできません。

例 0-2を50%に設定



光センサ番号	63-1
0-1 ●	0-2 ○ 50

⑨割付データを送信する

割付したい負荷回路番号、点灯状態、調光レベルを全て入力し終わったら、**送信**キーを押します。ピッと鳴って割付内容を送信し記憶します。続けて次の光センサ割付を行う場合は、④~⑨を繰り返します。

■ チェック機能 → スイッチ機能

①スイッチに設定器を接続する (P7 参照)

メニュー
1. 機能／アドレス設定
2. スイッチ割付設定
3. 入力T/U割付設定
4. チェック機能

②チェック機能を選択する

カーソルキー \blacktriangledown \blacktriangle で「4. チェック機能」を選択し、**確定** キーを押します。

チェック機能
1. スイッチ機能
2. 接続端末
3. 割付グループ／パターン

③スイッチ機能を選択する

カーソルキー \blacktriangledown \blacktriangle で「1. スイッチ機能」を選択し、**確定** キーを押します。

スイッチ機能
調光△
調光□
調光▽

④機能を選択する

+1 (**-1**) キーを押して機能を選択します。

+1 キーを押す毎に、個別→グループ→パターン→調光→オールオン→オールオフ→人感入切→特殊→個別と変わります。(**-1** キーは逆となります。) 4ボタン分までの設定ができます。

例 調光に設定

スイッチ機能
調光△
調光□
調光▽

⑤アドレスを入力する

カーソルキーでアドレス欄にカーソルを移動し、**+10** **-10** **+1** **-1** キーを使ってアドレスを入力します。

オールオン、オールオフの場合は、アドレスの設定は必要ありません。

例 6-3に設定

スイッチ機能	
調光△	6-3
調光□	6-3
調光▽	6-3

⑥スイッチのボタン操作をする

点灯 キーを押すとスイッチの1ボタン目を押した信号を出します。

消灯 キーを押すとスイッチの2ボタン目を押した信号を出します。

全点灯 キーを押すとスイッチの3ボタン目を押した信号を出します。

全消灯 キーを押すとスイッチの4ボタン目を押した信号を出します。

■ **チェック機能** → **接続端末**

①スイッチに設定器を接続する (P7 参照)

②チェック機能を選択する

③接続端末を選択する

カーソルキー **▼▲** で「2. 接続端末器」を選択し
確定 キーを押します。
 接続されている端末器アドレスを表示します。

接続端末器	
1-1	2-1
2-3	2-4
12-2	12-3
D 2-1	D 2-2

■ **チェック機能** → **割付グループ／パターン**

①スイッチに設定器を接続する (P7 参照)

②チェック機能を選択する

③割付グループ／パターンを選択する

カーソルキー **▼▲** で「3. 割付グループ／パターン」を選択し
確定 キーを押します。
 既に割り付けされているグループ、パターン番号を表示します。
 「G」はグループ番号、「P」はパターン番号を表します。

割付 G / P 番号	
G 0-1	G 63-1
P 10-1	P 10-2
P 31-1	

④割付設定画面への移行

カーソルキーで所望のグループ番号またはパターン番号を選択して
確認 キーを押すと、その割付画面へ移行します。割付方法はグループまたはパターン割付設定方法と同様です。

■ 各種設定 → 調光センサ照度自動校正

①スイッチに設定器を接続する

データ設定器の接続方法(P7)に従いスイッチに設定器信号線を接続します。既に設定器を接続済みで他の設定操作を行っていた場合は[メニュー]キーを押してメニュー画面にしてください。

メニュー

2. スイッチ割付設定
3. 入力T/U割付設定
4. チェック機能
- 5. 各種設定**

②各種設定を選択する

カーソルキー[▼][▲]で「5. 各種設定」を選択し、[確定]キーを押します。

各種設定

- 1. 調光センサ照度自動校正**
2. スケジュール設定
3. 日付・時刻設定
4. 消灯遅延時間設定

③調光コントローラ照度自動校正を選択する

カーソルキー[▼][▲]で「1. 調光コントローラ照度自動校正」を選択し、[確定]キーを押します。

パターン	照度 (L x)
0-4	

④校正するパターン番号を入力する

パターンに割り付けられている全調光コントローラを一括して照度自動校正します。校正したいパターン番号を[+10][−10][+1][−1]キーを使って入力します。

例 0-4を入力

パターン	照度 (L x)
0-4	

⑤校正照度値を入力する

カーソルキーで照度欄にカーソルを移動し、[+10][−10][+1][−1]キーを使って照度を入力します。[+10][−10]キーで100lxずつの増減、[+1][−1]キーで50lxずつ照度が増減します。

例 550 lxを入力

パターン	照度 (L x)
0-4	550

⑥校正データを送信する

④, ⑤により校正したいパターン番号と校正照度を入力したら、[送信]キーを押します。ピッと鳴って校正内容を送信します。続けて他の調光コントローラの照度自動校正を行う場合は、④~⑥を繰り返します。

■ 各種設定 → スケジュール設定 → 日スケジュール設定

①スイッチに設定器を接続する (P7 参照)

②各種設定を選択する

メニュー画面の「5. 各種設定」をカーソルキー **▼** **▲** で選択し、**確定**キーを押します。

各種設定
1. 調光センサ照度自動校正
2. スケジュール設定
3. 日付・時刻設定
4. 消灯遅延時間設

③スケジュール設定を選択する

「2. スケジュール設定」をカーソルキー **▼** **▲** で選択し、**確定**キーを押します。

スケジュール設定
1. 日スケジュール設定
2. 週間スケジュール設定
3. 特定日スケジュール設定
4. 当日スケジュール

④日スケジュール設定を選択する

「1. 日スケジュール設定」を選択し、**確定**キーを押します。

日スケジュール番号	■
ステップ#	001

⑤日スケジュール番号を入力する

設定したい日スケジュール番号を **+1** **-1** キーを使って入力します。

例 2を入力

日スケジュール番号	2
ステップ#	001

⑥設定内容の確認

確認キーを押すとピッと鳴って、既に設定されている場合はグループ/パターン/人感センサ入切番号、制御時間、制御内容が表示されます。番号先頭の「G」表示はグループ番号、「P」表示はパターン番号、「人」表示は人感センサ入切番号を表します。また、「○」表示はグループ点灯またはパターン選択、「●」表示はグループ消灯、「入」表示は人感センサ入、「切」表示は人感センサ切を表します。表示以上の設定内容がある場合は、カーソルキー **▼** **▲** を使って画面をスクロールすることができます。

日スケジュール番号	2	
ステップ#	003	
G 0-1	09:00	○
G 10-2	09:00	○

「ステップ#」は反転文字で示すステップ番号をあらわします。
※この操作は必ず行ってください。

⑦グループ/パターン/人感センサ入切番号を入力する

設定したいグループ、パターン番号または人感センサ入切番号を **+10** **-10** **+1** **-1** キーを使って入力します。制御時間、制御内容は初期値として 00:00 と ○が表示されます。設定内容を消去したいときはグループ、パターンまたは人感センサ入切番号にカーソルを移動し、**消去**キーを押します。

例 グループ0-2を入力する

日スケジュール番号	2	
ステップ#	003	
G 0-1	09:00	○
G 10-2	09:00	○
G 0-2	00:00	○

■ 各種設定 → スケジュール設定 → 日スケジュール設定

- ⑧制御時間を入力する。
設定したい制御時間を[+10] [-10] [+1] [-1] キーを使って入力します。
[+10] [-10]キーで時表示が増減、[+1] [-1]キーで分表示が増減します。

例 19:00を入力する

日スケジュール番号		2
ステップ# 003		
G 0-1	19:00	○
G 10-2	19:00	○
G 0-2	19:00	○

- ⑨制御内容を入力する。
設定したい制御内容を[点灯] [消灯] キーを使って入力します。
[点灯]キーでグループ点灯、パターン選択または人感センサ入を設定します。
[消灯]キーでグループ消灯または人感センサ切を設定します。

例 グループ消灯を入力する

日スケジュール番号		2
ステップ# 003		
G 0-1	19:00	○
G 10-2	19:00	○
G 0-2	19:00	■

⑩設定データを送信する

- ⑦～⑨により設定したい内容を全て入力したら、[送信]キーを押します。ピッと鳴って設定内容を送信し記憶します。
続けて次の日スケジュール設定を行う場合は⑤～⑩を繰り返します。

※日スケジュールは8日分設定できます。
※日スケジュール1日分は最大256ステップまで設定できます。

■ 各種設定 → スケジュール設定 → 週間スケジュール設定

①スイッチに設定器を接続する (P7 参照)

②「5. 各種設定」を選択する

③「2. スケジュール設定」を選択する

- ④週間スケジュール設定を選択する
「2. 週間スケジュール設定」を選択し、[確定]キーを押します。

週間スケジュール設定			
日	■	木	
月		金	
火		土	
水			

- ⑤設定内容の確認
[確認]キーを押すとピッとなって、既に設定されている場合は各曜日と日スケジュール番号が表示されません。

週間スケジュール設定			
日	1	木	2
月	2	金	2
火	2	土	1
水	2		

※この操作は必ず行ってください。

- ⑥日スケジュール番号を入力する
設定したい曜日の日スケジュール番号欄にカーソルを移動し、[+1] [-1]キーで日スケジュール番号を選択します。[消去]キー操作で無表示にするとその曜日には日スケジュール番号を設定しないこととなります。

例 日スケジュール番号4を入力する

週間スケジュール設定			
日	4	木	2
月	2	金	2
火	2	土	1
水	2		

■ 各種設定 → スケジュール設定 → 週間スケジュール設定

⑦設定データを送信する

⑥の操作により設定したい内容を全て入力したら、送信キーを押します。ピッと鳴って設定内容を送信し記憶します。

■ 各種設定 → スケジュール設定 → 特定日スケジュール設定

※ありえない日付は設定しないでください

①スイッチに設定器を接続する (P7 参照)

②「5. 各種設定」を選択する

③「2. スケジュール設定」を選択する

④特定日スケジュール設定を選択する

「3. 特定日スケジュール設定」を選択し、確定キーを押します。

	年	月	日	番号
001	■			
002				
003				
004				

⑤設定内容の確認

確認キーを押すとピッと鳴って、既に設定されている場合は年・月・日・日スケジュール番号が表示されます。

表示以上の設定内容がある場合は、カーソルキー ▼ ▲ を使って画面をスクロールすることができます。

	年	月	日	番号
001	02	11	03	2
002	02	12	23	3
003	03	01	01	2
004	■			

※この操作は必ず行ってください。

⑥年・月・日・日スケジュール番号を入力する

設定したい年・月・日・日スケジュール番号を [+10] [-10] [+1] [-1] キーを使って入力します。

最大50日分の設定が可能です。

設定内容を消去したいときは年の欄にカーソルを移動し、消去キーを押します。

スケジュール制御しない特定日を設定する場合は、データを設定していない日スケジュール番号を設定してください（週間スケジュールを無効にする場合など）。

例 03年を入力する

	年	月	日	番号
001	02	11	03	2
002	02	12	23	3
003	03	01	01	2
004	03			

⑦設定データを送信する

⑥により設定したい内容を全て入力したら、送信キーを押します。ピッと鳴って設定内容を送信し記憶します。

ありえない日付が設定されている場合はピッピッピッと鳴るので、設定し直して送信キーを押して下さい。

※特定日は最大50日まで設定できます。

ご注意

特定日スケジュール設定画面にて当日のスケジュールデータは設定できません。当日スケジュール設定画面にて設定して下さい。

①スイッチに設定器を接続する (P7 参照)

②「5. 各種設定」を選択する

③「2. スケジュール設定」を選択する

④当日スケジュールを選択する

「4. 当日スケジュール」をカーソルキー▲▼で選択し、**確定**キーを押します。

当日スケジュール		
1. 当日スケジュール設定		
2. 当日キャンセル		

⑤当日スケジュール設定を選択する

「1. 当日スケジュール設定」を選択し、**確定**キーを押しますと当日スケジュール設定画面が表示されます。**確認**キーを押すことにより、既に当日スケジュールが設定されていればその内容、設定されていなければ設定済みの特定日または週間スケジュールが表示されます（特定日スケジュールと週間スケジュールが同じ日に設定されている場合は特定日スケジュールが優先されます）。

当日スケジュール設定		
ステップ#	003	
G 0-1	09:00	○
G 10-2	09:00	○
■		

⑥グループ/パターン/人感センサ入切番号を入力する

設定したいグループ、パターンまたは人感入切番号を**+10** **-10** **+1** **-1** キーを使って入力します。制御時間、制御内容は初期値として00:00と○が表示されます。設定内容を消去したいときは設定番号欄にカーソルを移動し、**消去**キーを押します。

例 グループ0-2を入力する

当日スケジュール設定		
ステップ#	003	
G 0-1	09:00	○
G 10-2	09:00	○
G 0-2	00:00	○

⑦制御時間を入力する。

設定したい制御時間を**+10** **-10** **+1** **-1** キーを使って入力します。**+10** **-10** キーで時表示が増減、**+1** **-1** キーで分表示が増減します。

例 19:00を入力する

当日スケジュール設定		
ステップ#	003	
G 0-1	09:00	○
G 10-2	09:00	○
G 0-2	19:00	○

⑧制御内容を入力する。

設定したい制御内容を**点灯** **消灯** キーを使って入力します。**点灯**キーでグループ点灯、パターン選択または人感入を設定します。**消灯**キーでグループ消灯または人感センサ切を設定します。

例 グループ消灯を入力する

当日スケジュール設定		
ステップ#	003	
G 0-1	09:00	○
G 10-2	09:00	○
G 0-2	19:00	■

⑨設定データを送信する

⑥～⑧により設定したい内容を全て入力したら、**送信**キーを押します。ピッと鳴って設定内容を送信し記憶します。

全消去キー操作にて画面表示を消した後に**送信**キーを押すと、当日スケジュール設定したスケジュール内容だけでなく、当日に該当する特定日スケジュール及び週間スケジュールも含めてまったくスケジュール制御を行わない設定となります。

■ 各種設定 → スケジュール設定 → 当日スケジュール → 当日キャンセル

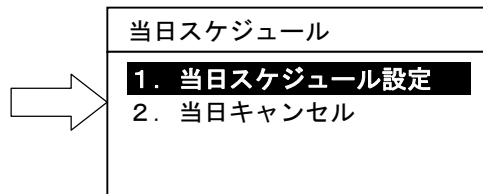
①スイッチに設定器を接続する (P7 参照)

②「5. 各種設定」を選択する

③「2. スケジュール設定」を選択する

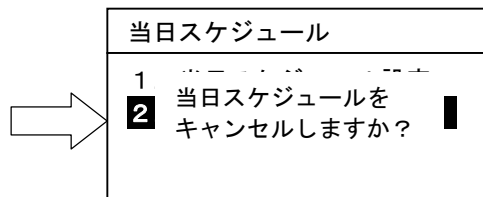
④当日スケジュールを選択する

「4. 当日スケジュール」をカーソルキー▲▼で選択し、**確定**キーを押します。



⑤当日キャンセルを選択する

「2. 当日キャンセル」を選択し、**確定**キーを押すと「当日スケジュールをキャンセルしますか？」の確認表示が出ますので、実行したい場合は再度**確定**キーを押して下さい。
この操作により、当日スケジュール設定画面で設定したスケジュール内容は取り消され、この日に特定日スケジュールまたは週間スケジュールが設定されていればその内容が有効になります。



■ 各種設定 → 日付・時刻設定

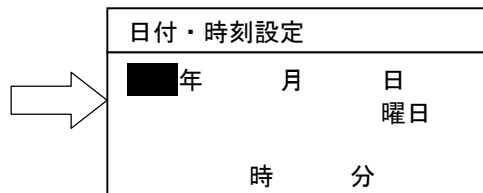
※ありえない日付は設定しないでください

①スイッチに設定器を接続する (P7 参照)

②「5. 各種設定」を選択する

③日付・時刻設定を選択する

「3. 日付・時刻設定」を選択し、**確定**キーを押します。



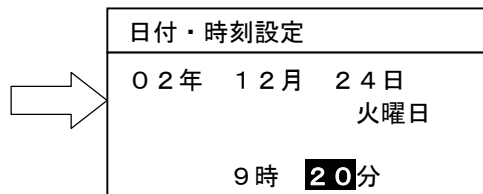
④現在時刻の確認

確認キーを押すとピツとなって、設定されている現在の日付と時刻が表示されます。



⑤日付・時刻を入力する

設定したい年・月・日・時・分を**+10** **-10** **+1** **-1** キー及びカーソルキーを使って選択します。
曜日は選択された年月日から自動表示されます。



⑥設定データを送信する

⑤の操作により設定したい内容を全て入力したら、**送信**キーを押します。ピツと鳴って設定内容を送信し記憶します（設定した「分」の0秒に設定されます）。
ありえない日付が設定されている場合はピツピツピツと鳴るので、設定し直して送信キーを押して下さい。

※設定した内容に誤りがないか、**確認**キーを押して設定内容を確認してください。


■ 各種設定 → 消灯遅延時間設定

①スイッチに設定器を接続する (P7)

②「5. 各種設定」を選択する

③消灯遅延時間設定を選択する

「4. 消灯遅延時間設定」を選択し、**確定**キーを押します。



アドレス	消灯遅延時間(分)
■	

④設定内容の確認

確認キーを押すとピツとなって、すでに消灯遅延時間が設定されているアドレスと設定されている消灯遅延時間が表示されます。



アドレス	消灯遅延時間(分)
0-1	1
0-2	0.5

⑤アドレスを選択する

+10 **-10** **+1** **-1** キーで消灯遅延時間を設定する個別 ON/OFF 回路のアドレスを選択します。



アドレス	消灯遅延時間(分)
0-1	1
0-2	0.5
0-4	

⑥消灯遅延時間を選択する

カーソルキーで消灯遅延時間を設定するアドレスの消灯遅延時間欄にカーソルを移動し、**+1** **-1** キーで消灯遅延時間を選択します。消灯遅延時間は 0.5→1→2→3→5→10→15→30→60→120→0.5 と変わります。



アドレス	消灯遅延時間(分)
0-1	1
0-2	0.5
0-4	10

⑦設定データを送信する

⑤、⑥の操作により設定したい内容を全て入力したら、**送信**キーを押します。ピツと鳴って設定内容を送信し記憶します。

7	仕 様
---	-----

電 源	単4アルカリ電池1.5V 4本（別売品） システム稼動中は伝送線より給電						
信号消費電流	40mA (バックライト点灯時 50mA)						
機 能	<ul style="list-style-type: none"> ・スイッチの機能、タイマー及びアドレスの設定 機 能：個別制御、グループ制御、パターン制御、調光 人感センサ入切、特殊スイッチ制御 タイマー：一時点灯、消灯遅延 ・制御端末器のアドレス及びフェード時間の設定 ・入力端末器のアドレスの設定 ・スイッチ機能 任意のスイッチとして動作できます。 (タイマー動作は不可) 割付設定機能：グループ、パターン、調光、シーン、 人感センサ入切、強制パターン、光センサ 特殊スイッチ（メルセーブNET M のみの機能） 接続端末表示 割付済みグループ・パターン表示 調光コントローラ自動照度校正（メルセーブNET M のみの機能） タイムスケジュール設定（メルセーブNET Cのみ の機能） 日付・時刻設定 個別回路消灯遅延時間設定 						
形 状	ハンディタイプ（吊り下げひも付き）						
色	オフブラック						
付 属 品	<table border="0"> <tr> <td>信号線（プラグ付き4芯ケーブル）約50cm</td> <td>1本</td> </tr> <tr> <td>本体ケース（ビニール製）</td> <td>1個</td> </tr> <tr> <td>取扱説明書</td> <td>1部</td> </tr> </table>	信号線（プラグ付き4芯ケーブル）約50cm	1本	本体ケース（ビニール製）	1個	取扱説明書	1部
信号線（プラグ付き4芯ケーブル）約50cm	1本						
本体ケース（ビニール製）	1個						
取扱説明書	1部						

■ お手入れのしかた

- 柔らかい乾いた布で拭いてください。
- 汚れがひどい時は、水に浸した布を固くしぼって拭いてください。
- 設定器本体はプラスチック製ですので、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの薬品、洗剤等で拭かないでください。

＜無償修理規定＞

1. 保証期間内に故障して、無償修理をご依頼の場合は、お買上げの販売店にご相談ください。
2. 無償保証期間および範囲
 - 据付けた当日を含めた1年間としますが無償にて支給、修理をするのは、故障した部品または当社が交換を認めたユニットに限ります。
ただし、3頁に記載する使用方法による損傷や故障については、保証期間中であっても支給、修理は有償となります。
 - 無償保証期間経過後の修理につきましては、お買上げの販売店にご相談してください。
 - 修理などのアフターサービスについてご不明の場合は、お買上げの販売店にご相談ください。
3. 保障期間内でも次の場合には有償修理となります。
 - (a) 仕様範囲外で使用したことによる事故、損傷や故障の場合。
 - (b) 改造した場合
 - (c) 操作方法が不備なことによる事故、損傷や故障の場合。
 - (d) 火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害や異常電圧による事故、損傷や故障の場合。
 - (e) 本機事故に起因した営業保証などの2次保証はいたしません。
 - (f) その他、据付け、操作、調整、保守、取扱上常識となっている内容を逸脱した使用での事故、損傷や故障の場合は保証できません。
4. 本製品は日本国内専用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.
5. この保証内容は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証内容によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。



三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社

連絡先

〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船2-14-40
☎ (0467) 41-2729 (営業統轄部)
☎ (0467) 41-2773 (品質保証部サービス課)